



# 一日車掌がんばりまあ!!

二葉保育園（海部駅）



## 海陽町議会だより

9月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164  
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **54** (2019.11)

おもな内容

決算認定 .....	2～4P
行政報告 .....	14P
一般質問 .....	15～19P

平成30年度

# 決算認定

さらに効率的な  
財政運営へ

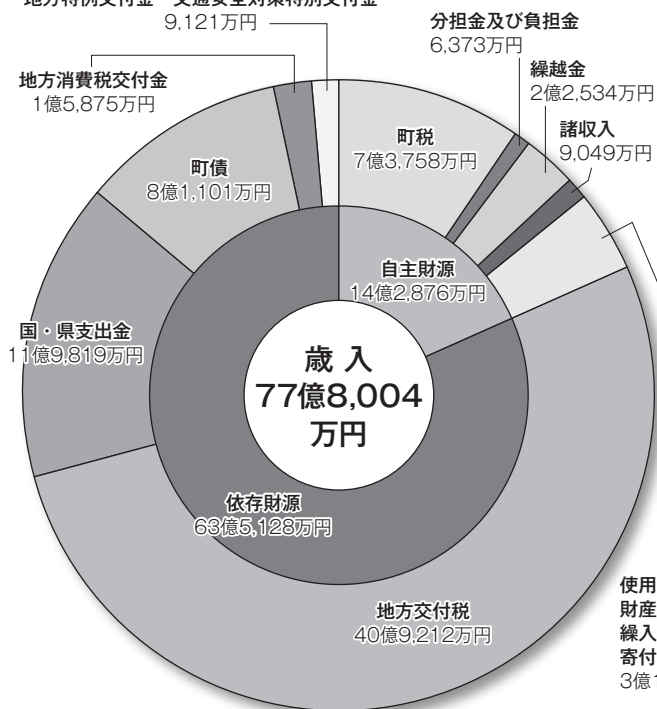
平成30年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定の議案が提出され、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金がどのように使われたかを慎重に審査した結果、すべて原案のとおり認定しました。

## 平成30年度一般会計 歳入・歳出決算の内訳

地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金  
株式等譲渡所得割交付金・自動車取得税交付金  
地方特例交付金・交通安全対策特別交付金  
9,121万円

地方消費税交付金  
1億5,875万円

国・県支出金  
11億9,819万円



積立金  
1億3,235万円

繰入金  
9億5,669万円

補助費  
12億7,089万円

その他の経費  
38億9,175万円

維持補修費  
4,744万円

使用料及び手数料  
財産収入  
繰入金  
寄付金  
3億1,162万円

歳出  
73億2,835万円

物件費  
15億3,538万円

災害復旧事業費  
1億3,499万円

普通建設事業費  
11億7,714万円

投資的経費  
12億8,063万円

公債費  
8億4,274万円

義務的経費  
24億5,597万円

扶助費  
4億6,560万円

人件費  
8億4,763万円

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

歳出

### 目的別 歳出

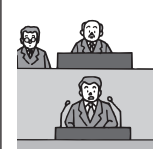
#### 歳出総額



73億2,835万円

#### 議会費

議会の運営など。



6,667万円  
(0.91%)

#### 総務費

役場の管理運営・  
財産管理・地域振  
興対策など。



9億8,713万円  
(13.47%)

#### 民生費

社会福祉や生活扶  
助など。



16億2,554万円  
(22.18%)

#### 衛生費

保健衛生、ごみの清  
掃、し尿処理など。



7億1,271万円  
(9.73%)

#### 農林水産業費

農業・林業・水産  
業の振興など。



7億6,265万円  
(10.41%)

#### 商工費

商業・工業の振興  
など。



1億5,962万円  
(2.18%)

#### 土木費

道路・橋の建設、  
維持管理など。



7億6,721万円  
(10.47%)

#### 消防費

消防・水防・防災  
対策など。



4億8,657万円  
(6.64%)

#### 教育費

教育・文化・スポー  
ツ施設の充実など。



6億8,168万円  
(9.30%)

#### 災害復旧費

インフラ、ライフライン  
などの復旧。



1億3,499万円  
(1.41%)

#### 公債費

償還（借金返済）  
など。



8億4,274万円  
(11.50%)

#### 諸支出金

寄付金、基金積  
立など。



1億3,235万円  
(1.81%)

(※金額はすべて千円以下を四捨五入しています。)

決

算

認

定

平成30年度  
一般会計

# 73億円はどう使われたのか

## きゅうりタウン構想事業に2億4,567万円など

### 監査意見

**当**

年度の歳入総額は、  
77億8004万円

で前年度と比べて4億5095万円の減少となっており、科目別に見ると増加したのは「県支出金」・「寄附金」・「使用料及び手数料」等、減少したのは、「町債」・「地方交付税」・「繰越金」等である。

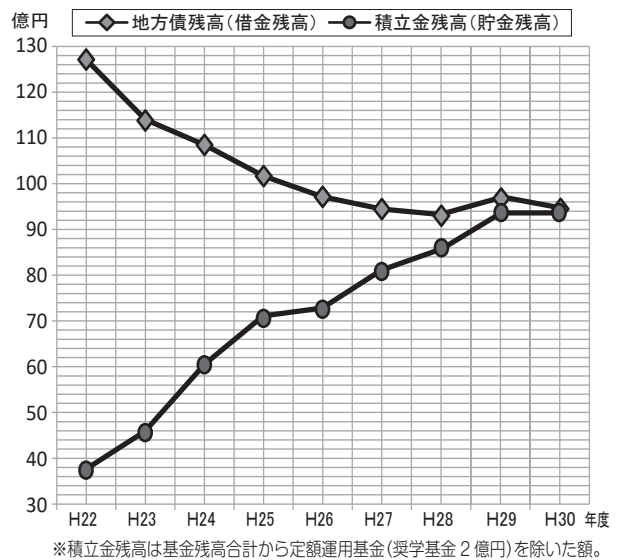
地方交付税の一本算定替えによる大幅な減少等により、財政規模は縮小傾向にあり、財政調整基金への積立額も大幅に減少している。今後、大型事業の地方債償還による実質公債費比率の増も見込まれる。

現時点において、財政状況は健全な基準の範囲内であるが、次年度以降は急激な悪化も予測されるので、危機感を持って一層の財政基盤強化に取り組まなければならない。

### 基金残高一覧表

普通会計	財政調整基金	36億3,717万円
	減債基金	18億5,158万円
	特定施設振興調整基金	3億9,950万円
	鉄道経営安定基金	2億3,463万円
	地域福祉基金	2億7,392万円
	子どもあゆみ基金	7億9,640万円
	千年のいのちを守るまちづくり基金	13億6,266万円
特別会計	その他基金(普通会計)	1億9,004万円
	国民健康保険財政調整基金	1億7,617万円
	国民健康保険穴喰診療所財政調整基金	2億17万円
定額運用基金	その他基金(特別会計)	1億6,979万円
	奨学金基金	2億円
合	計	94億9,203万円

### 町の借金と貯金の推移



### 会計別決済状況

(単位：万円)

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	77億8,004	73億2,835	4億5,169
国民健康保険特別会計	14億4,252	14億3,448	804
後期高齢者医療特別会計	1億8,246	1億7,919	327
介護保険特別会計	15億7,215	15億1,559	5,656
浅川公共下水道事業特別会計	5,169	4,881	288
海部公共下水道事業特別会計	7,905	7,280	625
穴喰公共下水道事業特別会計	1億5,943	1億5,265	678
神野農業集落排水事業特別会計	2,616	2,339	277
川西農業集落排水事業特別会計	2,999	2,623	376
日比原農業集落排水事業特別会計	1,206	949	257
漁業集落排水事業特別会計	1,477	1,258	219
川西簡易水道事業特別会計	3,878	922	2,956
海部簡易水道事業特別会計	6,292	5,470	822
中里簡易水道事業特別会計	334	275	59
川上簡易水道事業特別会計	2,297	1,531	766
鉄道経営安定基金特別会計	1億1,383	1億1,383	0
穴喰診療所事業会計	1億2,984	1億333	2,651

### 減債基金とは

将来にわたり町財政の健全な運営を行うため、町債(町の借金)の償還(返済)に必要な財源を確保するための基金(貯金)。



# 順調だが：簡易水道との 統合後は財政の健全化が必要！

# 危機的状況にあり 新医療体制に期待！

## 平成30年度上水道事業会計

事業収益	1億2,309万円 (△353万円 対前年)
事業費用	1億692万円 (△71万円 対前年)
純利益	1,618万円

**事** 事は順調に推移しているが、昨年度と比較し給水収益が339万円の減少となっている。この要因は、人口減少とともに節水機器の普及によるものと思われる。

防災面から見ると、老朽化した非常用大型発電施設を2カ所更新したが、南海トラフ巨大地震等に備え、水道管の耐震化などさらなる施策が必要であり、地震・津波対策を計画的に講じることが重要であると考えられる。令和2年度には、簡易水道事業との統合が実施予定であり、今後

さらなる財政の健全化が必要とされる。統合にあたっての料金設定については、住民の理解が得られるよう努力し、水道事業運営が適正かつ公平・健全に行われることを望む。



老朽化した発電機取替状況 (吉野水源地)

## 平成30年度海南病院事業会計

事業収益	4億6,784万円 (△1,944万円 対前年)
事業費用	5億2,586万円 (△335万円 対前年)
純損失	5,802万円

**一** 一般会計からの繰入金が2億5120万円あるが、上記の赤字となっている。

過去に3年続いた3億円を超える繰入金は減少しているが、これは資本勘定繰入の減少によるものであり、収益は全く改善されておらず危機的状況である。

経営改善の一環として、平成28年度に地域包括ケア病床の導入を行ったが、入院、外来患者数とも減少に歯止めが掛かっていない。医療収入に占める職員給与比率は140.9%と大幅に増加し、異常な数値となっている。

今後についても、医師の安定確保は最重要課題であるが、今年度は常勤医師1名と医療政策統括監を迎えることができた。医療の充実はもとより職員の意識改革を図り、住民に必要とされる病院となるよう期待する。



海南病院でのD-MAT (災害派遣医療チーム) 訓練

# 第3回定例会

## 議案の審議

令和元年第3回定例会は、9月9日開会、町長より15議案が提出され、審議の結果原案どおり可決し、9月13日閉会した。

### 条例関係

- ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
- ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例
- ・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・印鑑条例の一部を改正する条例
- ・町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例
- ・水道給水条例の一部を改正する条例
- ・無医地域の老人に対する通院費の助成に関する条例を廃止する条例

### 契約関係

- ・町道海南柿谷線・神野橋上部架設工事変更請負契約について  
変更前(契約額) 1億2398万円  
変更後(契約額) 1億3116万円  
令和元年度パソコン変更購入契約について  
変更前(契約額) 1203万円  
(納期)令和元年12月27日まで  
変更後(契約額) 1182万円  
(納期)令和元年9月30日まで

### 予算関係

- ・一般会計補正予算(第4号) 2億816万円↑
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 423万円↑
- ・介護保険特別会計補正予算(第2号) 5471万円↑
- ・海部簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 350万円↑

注釈  
↑ 増額  
↓ 減額

### 承認関係

・人権擁護委員候補者の推薦について

## 人権擁護委員候補者



穴喰浦字穴喰  
由木和幾氏

任期満了に伴う候補者の推薦(再任)を適任と認めました。  
※ 任期は1月1日から3年間

### 要望等

・徳島県建設業協会海部支部からの要望  
「中間前払金支払限度額を撤廃すること」

# 第4回臨時会

## 議案の審議

第4回臨時会は、8月5日開会、次の議案等が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

### 承認関係

・税過疎地域自立促進計画の一部変更について

### 予算関係

- ・一般会計補正予算(第3号) 2億9032万円↑
- ・海南病院事業会計補正予算(第2号) 2億2118万円↑

注釈  
↑ 増額  
↓ 減額

## 9月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	9月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億5,096万4千円	8.5
地方譲与税	0	8,870万円	1.2
利子割交付金	0	110万円	0.0
配当割交付金	0	390万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	390万円	0.0
地方消費税交付金	0	1億2,180万円	1.6
自動車取得税交付金	0	530万円	0.1
環境性能割交付金	0	170万円	0.0
地方特例交付金	600万円	690万円	0.1
地方交付税	6,646万6千円	36億2,598万6千円	47.6
交通安全対策特別交付金	0	80万円	0.0
分担金・負担金	△26万1千円	6,782万5千円	0.9
使用料・手数料	△315万4千円	6,073万7千円	0.8
国庫支出金	1,500万円	4億3,330万8千円	5.7
県支出金	2,364万9千円	5億813万円	6.7
財産収入	5万2千円	4,469万8千円	0.6
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	58万3千円	7億3,510万6千円	9.7
繰越金		1億70万4千円	1.3
諸収入	6,957万8千円	2億9,948万7千円	3.9
町債	3,024万6千円	8億6,344万6千円	11.3
合計	2億815万9千円	76億2,519万1千円	100.0

歳出	9月補正	補正後	構成比率
議会費	0	6,904万5千円	0.9
総務費	1,015万6千円	13億2,762万1千円	17.4
民生費	7,729万2千円	17億9,676万7千円	23.6
衛生費	213万9千円	7億7,448万1千円	10.2
農林水産業費	3,157万4千円	4億3,360万5千円	5.7
商工費	737万2千円	2億2,681万7千円	3.0
土木費	4,729万3千円	10億1,771万7千円	13.3
消防費	643万7千円	4億9,521万3千円	6.5
教育費	1,839万2千円	6億1,338万5千円	8.0
災害復旧費	0	3,960万円	0.5
公債費	750万4千円	7億9,756万7千円	10.5
諸支出金	0	2,389万1千円	0.3
予備費	0	948万2千円	0.1
合計	2億815万9千円	76億2,519万1千円	100.0

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

## 総務産業建設常任委員会

委員長 小山 慎

9月9日開会。まぜのおか修繕計画のうち蛇王野球場とテニスコートを巡視後、所管する議案等について説明を受けた。

### 決算認定

※P2～P4参照

○ 一般会計

**委員より** 地方交付税が年間約1億円減っている。事業の見直しをしながら、財政規模にあった努力が必要。

特別会計の簡易水道4会計で多額の未収金があり、税金などと公平化を持って徴収努力をしてほ

しい。

○ 企業会計決算（上水道事業会計）

**問** 上水道事業会計と簡易水道事業特別会計の統合に向けた、住民説明会は。

**答** 9月定例会後、準備を進め、15地区を予定。日程は順次調整。

### 条例関係

○ 会計年度任用職員の給与等に関する条例

フルタイム会計年度任用職員とパートタイム職員の給与および費用弁償を定める。

○ 地方公務員法等の改正に伴う条例の整備

12件の改正があり、主なものは、一定の会計年度任用職員は育児休業をすることができ。また技能労務職員の再任用職員には扶養手当等は適用しないという規定。

○ 町水道給水条例の一部を改正する条例

水道法の改正による指定給水装置工事業者の更新時の手数料を定めるための改正。

### 契約関係

○ 平成30年度町道海南柿谷線・神野橋上部架設工事変更請負契約

仮設工事の工事用道路における数量変更による増額である。

○ 令和元年度パソコン変更購入契約

納期を12月末としていたが、9月末で完了できないため、消費税を10%から8%に変更し、減額変更するもの。

### 予算関係

○ 一般会計補正予算

総務費の主なもの  
 ・ 会計年度任用職員制度の移行経費として、例規集追録代・システム改修費 [369万円]  
 ・ 農林水産費の主なもの  
 ・ 森林整備地域活動支援交付金 [360万円]  
 ・ 相川ヲボラ地区の森林経営計画作成の促進。

商工費の主なもの

・ 四国遍路文化いきいきプロジェクト推進費補助金 工事請負費 [25万円]  
 ・ 遊遊NAS A入口の遍路小屋にWi-Fi整備 委託料 [50万円]  
 ・ 船津キャンプ場の屋根修繕の調査設計など。

消防費の主なもの

・ 避難路工事請負費 [250万円]  
 ・ 穴喰金目地区の避難路整備。  
 ・ 備品購入費 [120万円]  
 ・ 浅川大田地区に備蓄倉庫設置。

○ 特別会計補正予算  
 部簡易水道事業特別会計補正予算  
 ・ 瀬浦排水路改修に伴う水道管移設のための工事請負費 [350万円]

### 要望関係

○ 公共工事前金払

中間前金払制度の要望―徳島県建設業協会海部支部  
 総務省、国交省の指針などから要望されており、中間前金払支払限度額を撤廃することにについて、全会一致で採択した。

### その他

**問** 町長の行政報告で（株）漁

火の道の駅レストランを10月1日に閉鎖し、リビエラに統合する報告を受けたが、リビエラ、道の駅の根本的な構

造を変えることにつながってくる。議会に対する説明と今後の事業のスケジュールを示す必要がある。  
**答** 現在の経営状況を見ながら、設立趣旨である地元の声を守るのが前提。前向きに改革をしていき、皆で考え頑張っていく。



「蛇王野球場」の老朽化したバックスクリーンとスコアボードを巡視

主な事業については、左のページに特集しています。



この下に水路が通っています

## いよいよ工事開始

# 鞆浦地区 排水対策事業 2352万円

**4** 年前に浸水被害のあった鞆浦字南町の排水路を拡幅し機能強化します。延長は33・8m。

## 全国女性 操法大会の 出場経費

# 110万円

**11** 月13日横浜で開催される第24回全国女性操法大会に、本町女性消防隊が徳島県代表で出場するための旅費及び訓練手当です。



操法訓練をする女性消防隊員

## ませのおか施設 修繕計画委託料

# 350万円



老朽化している温水プール熱交換器

ますますの活用を目指します

**老** 朽化している各施設(プール・野球場・テニスコート)の修繕計画策定のための調査委託料です。

## きゅうりタウン 構想実現に向けた 施設整備

# 1627万円



ミスト設備の検査状況

効率の良い栽培のために

**ハ** ウス内の湿度及び温度管理に即効性をもたすため、ハウス10棟(うち町内9棟)に細霧冷房システム(ミスト整備)を導入するための補助金です。

## 文教厚生常任委員会

委員長 原 ひろみ

9月10日開会。海南小学校のエアコン設置状況の巡視後、所管する議案等について説明を受けた。

### 決算認定

※P2～P4参照

○ 国民健康保険特別会計は、歳入決算額14億4252万円、歳出決算額14億3447万円。国保加入世帯数は1666世帯で35.9%。保険税収納率79.1%など。

特定健診受診率は県下2位であり、無料チケットの発行の効果である。メタボ健診後の保健指導は全国5位。

穴喰診療所は2650

万円の黒字決算。

**委員より** 負担が不公平

にならないように、未収金の徴収努力をしてほしい。

**問** 国保税が他町より高いのはなぜか。

**答** 1人当たりの医療費が増加している。原因として心臓の手術や病気の精神疾患での入院などの増加がある。

○ 企業会計決算の海南病院事業会計は、入院、外来とも患者数の減少で一般会計繰入金は2億5120万円。ただし、今年医師も補充でき、患者数も増加している。また企業健診や24時

間心電図も利用者数が増えているとのこと。

**委員より** 救急患者の診察を、夜間や休日も受け入れてほしい。

### 条例認定

○ 印鑑条例の一部を改正する条例

女性活躍推進のため、旧姓も使用可能とするよう印鑑条例を改正。

○ 町立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例

国の幼児教育無償化を受け、幼稚園保育料徴収条例を改正。

○ 無医地域の老人に対する通院費の助成に関する条例を廃止する条例

10月1日から、行き！活き！高齢者外出応援事業を全町で開始するため、川上地区の老人通院費助成を廃止する。

### 予算関係

○ 一般会計補正予算

民生費の主なもの

・プレミアム付き商品券事業 [7500万円]

・保育所副食費補助 [118万円]

・西保育所の厨房エアコン工事請負費 [68万円]

衛生費の主なもの

・猫避妊・去勢手術費委託料 [65万円]

・ゴミ収集表示板修繕費 [33万円]

教育費の主なもの

・子どもあゆみ補助金 [29万円]

・学校給食費の月額200円値上げ分を補助する。

・奨学金支援事業助成金 [144万円]

「おかせReターン海陽・奨学金」の申請超過6名分の追加。

・副食費補助金 [43万円]

・幼稚園16人分の補助。

・海部公民館防火シャッター改修工事 [460万円]

・海南文化村屋根修繕工事 [920万円]

○ 特別会計補正予算

国民健康保険特別会計補正予算

・出産育児一時金 [252万円]

・電算システム委託料 [170万円]

### その他

・穴喰診療所医師の官舎屋根修理 [90万円]

**委員より** 海部小学校の

エアコン室外機設置場所の改良を求める意見があり、設計者や施工業者と関係者で協議することとなった。



海南小学校職員室でエアコン集中管理状況を巡視

主な事業については、左のページに特集しています。



# 国の無償化が開始!

## 幼児教育・保育の無償化に伴う歳入予算組替

保育料の減額	△454万円
阿波っ子はぐくみ補助金の減額	△106万円
子どもあゆみ基金の減額	△204万円
子ども・子育て交付金の追加	600万円

**令** 和元年10月1日から、幼児教育・保育の無償化が開始されます。国の「子ども・子育て支援臨時交付金」を計上し、無償化となる保育料や補助金を補てんするものです。



美味しくて笑顔いっぱい (食喰保育所)

**海** 陽町では、保育料無償化の対象とならない副食費(給食のおかず代)を「海陽町子どもあゆみ基金」から助成します。

### 副食費補助金

**203万円**

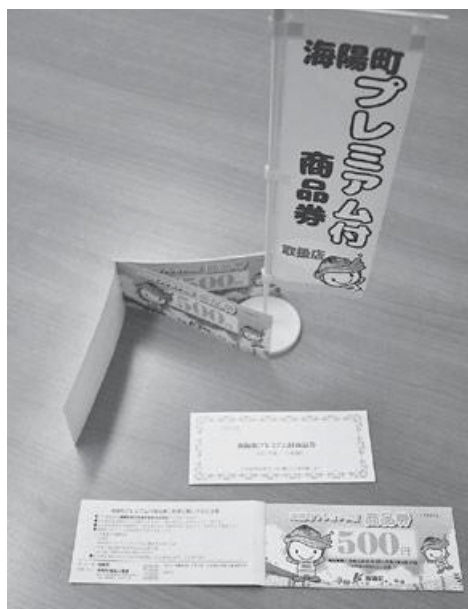
## 猫の避妊去勢手術委託料

**65万円**

**地** 域において、飼い主のいない猫を増やさないよう避妊去勢手術費を助成するものです。(65匹分：1匹につき1万円)



耳先のV字カットは不妊去勢手術済の目印



商品券見本

**消** 費税10%への引上げによる、低所得者や子育て世帯の影響を緩和し、地域の消費喚起を目的とします。

令和2年3月31日まで町内の登録店で使用できます。

子育て世帯を応援します

**プレミアム付き商品券事業**

**7500万円**

主

な

事

業

## 議案審議

条例について

## Q1. 会計年度任用職員に

関する条例



長岡議員

現在の臨時職員105名のうちフルタイム対象人員32名の職種は。

浦川総務課長

他の職員で勤務が困難であり人員確保が特に困難であることを基準に看護師5名、保育士8名、幼稚園教諭2名、臨床検査技師1名、作業療法士1名、町費助教員15名の計32名を予定。

契約について

## Q2. 町道海南柿谷線・

神野橋上部架設工事

変更請負契約



見吉議員

工期まで1カ月余りであり、これから変更で完成できるのか。事前着手しているのか。

黒木建設課長

変更箇所の照明工・付帯工は、まだ施工していない。今後床板ができあがり次第、現場と調整のうえ変更する。工期内には完成予定である。

一般会計補正予算（第4号）

## Q3. 農山漁村みらい創造

事業補助金

〔1627万円〕



白濱議員

きゅうりタウンのミスト設備導入補助金は、きゅうりタウン構想による新規農家だけか。従来からのハウス農家は入っていないのか。

森農林水産課長

今回のミスト整備は希望者を募り、新規で移住されてきた方のハウス、従来のキュウリ農家のハウスも整備をしていく。

きゅうりタウン構想は、キュウリの栽培を海部郡で増やしていくという主旨で行っており、従来からの農家もきゅうりタウン構想の中には入っている。

Q4

### 韮浦地区排水路改良工事 請負費〔2352万円〕



原議員

工事により水路を改良する  
なら、その上を消防車が入れる  
ぐらいの通路にしてはどうか。

黒木建設課長

水路改修工事により、上部は床板（蓋）を  
するため、緊急車両等が入るスペースは確  
保できると思うが、維持管理も考えて検討  
する。

Q5

### 衛生費委託料 〔65万円〕



戸田議員

猫の避妊の去勢手術委託料  
について県の制度拡充に伴う  
とのことだが、どのような形  
で今後執行していくのか。

福岡住民環境課長

要綱を整備し、動物病院に委託をしよう  
と考えている。地域猫に限るものである。

Q6

### 商工費補助金 〔131万円〕



佐川議員

ませのおかの補助金は、  
何に使用されるのか。

戎谷商工観光課長

徳島インディゴソックス春期キャン  
プの施設使用料に対する補助である。

Q7

### 海南文化村工事請負費 〔920万円〕



小山議員

文化村全体の長期修繕  
計画を基に工事を行って  
いるのか。また、今回の工  
事の内容は。

中内教育次長

長期計画に基づいて順次整備を進めてい  
る。昨年度は文化館本体の屋根のさび止め  
等の改修を行い、今回は、博物館の屋根の  
さび止め等の改修と工芸館の屋根の改修、  
また外壁・通路の柱などの塗装を行う。

## 議会の役割

海陽町をより豊かにそして住みやすい町とする  
ため、全ての町民が集まって相談することは  
難しいため、皆さんの中から「町議会議員」と  
いう代表者を選んで代わりに話し合っています。

町長は、政策を実現するため、予算の編成や  
条例の制定などを議案として作成し議会に提出  
します。議会はその内容を慎重に審議し、その  
可否を決定します。町長は議会の決定に基づき  
事業を進めます。

このことから議会は「議決機関」、町長は「執行機関」と呼ばれ、両者の権限及び役割は明確に  
区分され、互いに協力しながらより良い町政運営に努めています。



議場と議員

議

案

審

議

## ○ 海陽町・東洋町議会意見交換会

【阿佐海岸鉄道のDMV事業について】 令和元年9月3日

東洋町とは県境で接し、両町とも太平洋に面し、サーフィンなどの観光や商業、また鉄道・道路といった幹線交通網まで生活圏の共通する部分が多く、その課題も共通している。

このため、問題意識の共有とその課題解決に向けた勉強会を開催することとなり、今年で5回目となる意見交換会を行っている。これまで、参議院選挙における合区制度の問題点を共通認識することにより、その後の両町議会において「合区の解消に関する決議」の採択も行っている。

今年度は本町議会が事務局として、第三セクター阿佐海岸鉄道・阿佐東線のDMV（線路と道路の両方を走行できる車両）導入事業について意見交換を行った。来年度開業に向けた現在の事業進捗状況や課題などの説明を徳島県次世代交通課の杉友室長・協谷課長補佐から聞き、その後は質疑応答も含め、これからの事業見通しや、車両運用方法などの意見交換を行った。

今後とも、高規格道路の事業化や観光資源の活用など県境をまたぎながらも共通課題は多方面にわたり、その解決に向けた研修と意見交換の継続が両町の事業展開の上でも重要と考えている。



DMV3台完成記念イベント（令和元年10月5日）



徳島県次世代交通課から説明を受ける両町議会議員

## ○ 議会広報誌作成講座

【議会広報スキルアップ講座】 令和元年8月23日



講師のわかりやすい指導に聞き入る研修参加者

議会広報誌は、議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められていることから、編集担当者の研修を行い、よりよい広報となることを目的としています。海陽町議会の「議会だより」の編集にあたっては次のように心掛けています。

- ※ 読んでみたくなる紙面にする。
- （わかりやすく興味を引く見出し・写真を使用する）
- ※ 議会だよりにしかない情報を載せる。
- （町の広報と違う情報）
- ※ 伝えるではなく、伝わる広報を目指す。

# 徳島県町村議会議長会 海陽町議会議員研修会

## 【議員報酬・定数について】

令和元年8月30日

講師：新潟県立大学国際地域学部

田口一博 准教授

徳島県町村議会議長会では、毎年4カ町村で議員研修を実施している。内容については、各議会においての課題などを取り上げている。

海陽町議会では、全国的に広がる「議員のなり手不足」を考えるきっかけとして、「報酬と定数」を議題に研修しました。



全国各地の議会でお話しになっている「田口先生」

田口先生のお話は、本町の明治時代からの議会の成り立ち、定数の変遷やそれに伴う報酬、また最近の全国的な流れや議会活動について、約2時間にわたり先生の私見も含めながら熱心にご教授くださいました。



熱心に研修を受ける海陽町議会議員

さいました。本町議会においては、次の改選まで2年と数箇月ありますが、いろいろな考え方がある中で、今回の研修も参考としながら、今後とも検討していきたいと考えています。

**議会のつぎ**  
7月1日から  
9月30日まで

### 7月

- 3日 議会広報編集特別委員会
- 11日 議会全員協議会
- 10日 議会広報編集特別委員会
- 25日 海部川風流マラソン実行委員会
- 29日 議会運営委員会

### 8月

- 2日 町村議会議長会定例会および研修会
- 5日 議会全員協議会
- 5日 第4回臨時会
- 6日 海部消防組合に関する協議会
- 7日 四国横断線改良促進期成同盟会理事会・総会
- 19日 南部地区四国横断自動車道期成同盟会総会
- 22日 四国新幹線整備促進期成会東京大会
- 23日 議会広報紙作成講座
- 30日 県議長会海陽町議会議員研修会

### 9月

- 2日 議会運営委員会
- 2日 議会全員協議会
- 3日 那防犯連合会総会
- 3日 海陽町・東洋町議会意見交換会
- 6日 郡衛生処理事務組合全員協議会
- 9日 第3回定例会（1日目）
- 9日 総務産業建設常任委員会
- 9日 議会運営委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 10日 第3回定例会（2日目）
- 12日 第3回定例会（3日目）
- 13日 議会広報編集特別委員会
- 15日 町敬老会
- 27日 郡暴力排除連絡協議会総会

# 子育て力のある 地域社会を目指して

町長 三浦 茂貴



DMV3台完成記念イベントでの挨拶

今年度より、阿波学会の学術調査が海陽町で行われている。本町のさまざまな「歴史的・文化的資源の価値」が改めて確認される機会になればと強く願っている。

## 「住み良い町の 実現」

南海トラフ巨大地震や豪雨災害を踏まえ、来る11月8日、海南庁舎において、関係機関との合同図上訓練を実施する。発災直後、行政が混乱する中での関係機関との連携や、民間のノウハウを活用した支援など、より実践的な訓練を積み重ねる。

本町は「ネコの愛護及び、管理に関する条例」を制定しているが、具体的な取組みは進んでいない。そこで、地域における飼い主のいない「ネコの避妊・去勢手術費用」を1匹1万円で65匹分を助成する。

これ以上野良ネコを増やさないように、地域猫

活動を支援する。

海南庁舎、海南病院、B&Gプールの空調設備や照明設備の改修などを国の補助を活用したESCO事業（省エネルギー）を実現し工事等を一元的に行う包括的サービス）により実施する。

さらに、海南庁舎を利用しやすくなるため、進入路の改修と1階フロアへの自動ドアの設置工事に着手する。

## 「にぎわうまちの 実現」

今年度から始めた、おかげReターン海陽・奨学金支援事業は当初の予定を上回る申し込みがあったため、6人分を追加補正した。

今後一人でも多くのUターン者が増え、海陽町がにぎわうことを願っている。

国の「森林経営管理法」の施行に伴い「とくしま南部地域森林管理システ

ム推進協議会」を去る7月8日に設立した。これにより、新たな森林管理システムを円滑に実施してまいりたい。

「株式会社漁火」の経営改善に向け10月から、「道の駅・ししき温泉」のレストランを廃止して、レストラン部門は「リビエラ・ししき」に集約し、メニューや価格を一新する。

道の駅は今後、物産機能を強化して、リビエラと一体化した中で、休憩、宿泊、食事、温泉、買い物とひとつのエリアで観光客が満喫できるように充実・強化を図る。

## 「はぐくむまちの 実現」

小学6年生と中学3年生への英検受験を無料化し、現在の児童生徒の英語能力を把握した中で、カリキュラムに生かして行く予定である。

「海陽町の中学校を卒業すれば英語が話せる」

という目標に向けて、グローバル教育の推進を行っていく。

地域子育て支援センター「あのね」が海部庁舎3階に誕生する。

主に就学前の子供を連れて保護者が集い、子育てに対する悩みやストレスの解消をする場所で、10月1日には、オープニング記念式典を開催する。

国の10月からの消費税増税対策により「プレミアム付き商品券」の発行をする。

対象は「住民税非課税者」と「3歳未満のお子さまがいる子育て世帯」で、各庁舎・出張所で受付をして指定の店舗で使えるようになる。

さらに国の「幼児教育、保育料の無料化」に伴い、実費徴収となる副食費を無料とする「子どもあゆみ事業」の拡充を行い、今後子育てしやすい町を目指す。



富田 寛 議員

# 子育て世帯へ家賃補助を

## 〈町長〉 審議委員会で議論いただく

**問** この件については昨年度6月議会で質問をしている。その当時担当課長から少子化対策審議委員会でも議論を経た上で方向性を出していきたい。町長も審議委員会の意見を受けて優先順位を

つけて慎重に検討をする。と答弁をいただいている。その後この件での会議内容、方向性は出たのか。

**答** 大崎福祉人権課長 昨年11月28日に審議委員会でも協議したが、1回の協議では決定できなかったため、今後継続していくこととなった。

**問** 若い夫婦、2人世帯で子供1人以上の世帯について1万円から1万5千円程度の家賃補助制度を設立して子育て世帯への支援策とする案について、町長の所見はどうか。

**答** 三浦町長 委員会で自由に議論をさせていただいて、提案されたものについて、しっかりと行政として進めていきたい。

# 危険立木除去事業を創設しては

## 〈農林水産課長〉 先進地を参考に勉強していく

**問** 大型台風の発生、記録的豪雨、風速の強大化により山林の立木倒木等が町内各地域で発生をしている。裏山が他人所有山林であれば危険木として認定したら1本の木、伐採費用でも経費の3割補助、地域（地

**答** 森農林水産課長

新たな森林管理システムの森林整備事業で対応できるものと考えているが、対象となる山林の整備時期の関係もあり、先進地の実情及び制度についてこれから勉強していきたいと考えている。

区）山林や団体所有山林については6割補助とする。（仮称）森林環境危険木除去事業を創設し推進していくべきかと考えるが、財源については森林譲与税を活用してはどうか。



家屋裏山での伐採作業

# 町税等の収入未済金の対策を

## 〈町長〉 目標を持ち徴収に努める

**問** 平成30年度歳入歳出決算書では町税等の収入未済額の合計は1億1619万円の収入未済額が発生をしている。各担当課なりに徴収率向上に向け日夜努力はしていると思う。また監査委員より「滞納処分の強化などさらなる未収金の解消に努めていただきたい。また不能欠損処分の適用にあたっては、厳正に行うなど適切な債権管理を心掛けるよう望むものである」との指摘もなされているので、徴収を委託して未済額の徴収を実施していくべきと考えるが。

**答** 圓山税務課長

今後も徳島滞納整理機構や徳島県と協議しながら、公平な徴収を行っていきたいと考えている。徴収の外部委託については、研究を行い適正な滞納整理に努めていきたい。

**答** 三浦町長

住民に不公平感が出ないように、各担当課でしっかりと目標を持ちながら徴収に努めてまいります。



佐川 富美 議員

## マイクロチップ装着の助成を

〈町長〉 基本的に飼い主の責任で

**問** 本年6月12日に動物愛護法が改正され、マイクロチップの装着が義務付けになり、不幸な犬、猫等をなくすため飼い主

の責任が明確にされた。すでに飼っている犬猫について、マイクロチップ装着は努力義務であるが、3年以内には義務化される。動物愛護の意識向上と、環境衛生に努めるため、マイクロチップ装着に対して、早期の補助金制度の確立が必要と考えるがどうか。

**答** 福岡住民環境課長

広報等を通して、飼い主の責任におけるマイクロチップ装着の推進に取り組みたい。



## ドライブレコーダーの設置は

〈管財課長〉 未設置車は今後設置する



公用車に搭載されているドライブレコーダー

**問** あおり運転、また交通事故など事件事故が多く報道されている。そこで役立つのがドライブレコーダーである。また、走る見守りカメラとして事件事故の捜査や行方不明の捜査など大変重要なものになっている。そこで、海陽町の公用車台数とドライブレコーダー設置数について伺う。

**答** 長岡管財課長

現在126台中94台設置。この内、ゴミ収集車は13台全車両に、また消防自動車は37台中14台に設置。未設置車両については、車検や新規購入時に設置予定。

## RPAの導入は

(ロボティック・プロセス・オートメーション)

〈町長〉 業務改善に向け研究する

**問** RPAとは、業務を代行・自動化するソフトウェアのこと。メリットとして業務の自動化、効率化、生産性向上、人的ミスの防止、コスト削減、人材不足の解消がある。職員意識調査では、人手不足で作業量が多いとの意見もあった。今、AI、IoTが発達する中、RPAの導入をしようか。

**答** 左海出納課長

県出納局が実証事業を行っている。作業時間の短縮などの効果があり、職員の負担軽減や働き方改革に期待ができる。今後、県によるRPA導入報告会や研修会が開催されるとの情報もあり、積極的に参加し、研究していきたい。

**答** 三浦町長

今後進化していく分野であり、人員不足の解消には有効なツールの一つと認識している。IoTやAIなどを駆使した新たな業務改善にも前向きに研究を重ねていく。

**議員** その他に、鳥獣捕獲員による報奨金の不正受給問題を質問した。

本町では、捕獲個体を直接現場に持ち込み、写真撮影しており、1枚目は捕獲個体と捕獲者、2枚目は捕獲個体に大きく青色スプレーをし撮影しており、不正はないとのことであった。





原 ひろみ 議員

# 「ナラ枯れ」被害の対策は

## 〈農林水産課長〉対策を検討する

**問** 「カシノナガキクイムシ」の媒介で急激に広葉樹を枯死させる伝染性のある病気の「ナラ枯れ」が県南部にも拡大している。現在の被害状

況、広範囲に拡大しないための対策、また町民が気を付けておくべき点は何か。

**答** 森農林水産課長

県が中心となり、県南1市4町と関係団体と連携し、南部圏域ナラ枯れ被害対策連絡会議を平成27年度に設置。

本町の被害状況は、平成27年度は43本、平成28年度は373本、平成29年度は31本、平成30年度は144本となっている。

被害拡大を防止には、広葉樹の循環利用が一番効果的と思われる。予防駆除では殺菌剤の樹幹注入などが有効的である。

町民の皆様には、ナラ枯れの疑いがあれば調査を行うので、役場に連絡をお願いしたい。

**問** 妙見山はヤッコソウの生息地であり、近隣には家も迫り、頂上には明

現神社の社も建っている。その周辺のシイの木は原生林の保安対策は考

えているのか。早急な対策を要望する。

また、防虫ネット被覆は、高価と聞く。その対策費用に国や県の補助金はないのか。また、森林環境譲与税は使えないのか。

**答** 森農林水産課長

防除対策に膨大なコストを掛けても、根絶することは困難である。ある程度のナラ枯れ被害は許容しつつ、重要文化財や人が集まる公共施設周辺の防除対策を担当課と連携しながら対策を検討していく。



ナラ枯れ被害調査（捕獲シート設置）

## 読書履歴通帳の導入を

〈教育次長〉導入を進め希望者に配布

る。本の通帳の印字が増えることにより、読書への自信になり、生涯に渡る財産となる。町の図書館や学校にも本の通帳を置いていただきたい。

**答** 中内教育次長

本町図書館の1人当たりの貸出冊数は、県下ナンバーワン（平成29年度実績）となっているが読書意欲をより高めるために、来年度から読書履歴の見える化を目指し、読書通帳の導入を進めてみたい。

経費や手軽さを考え、貸出記録が印字をされたレシートを読書通帳に貼り付ける方法で、次年度より希望者に配布したいと考えている。



**問** 全国の図書館利用者数の1位は東京都で徳島県は29位である。読書は、脳内活動も活性化され記憶力もアップし、健康寿命も延ばす。高齢化が進み余暇に「友人と一緒に図書館通い」の習慣を付けてほしい。読書履歴通帳は、自分が借りた本のタイトルや日付、著者等を記入でき、借りた本の履歴を目に見える形で残すことができ

# 町職員組合の緊急パワーハラスメント調査結果について問う



見吉 政貴 議員

## 〈副町長〉働き方改革を進め町民サービス向上

**問** 海陽町職員組合が、6月に行った緊急パワーハラスメント調査結果について問う。調査によると、最近1年間で、パワーハラと言われている行為を町長貴方から受けたと、はっきり答えている職員が8名。また、副町長からも同じ様なことを受けたと答えた職員が15名いる。町長、副町長お二人の意識改革が是非必要だと答えた職員が68名、まあ必要と答えた職員が36名、意識改革の必要なしと答えた職員はたった一人。その他にも、お二人がパワーハラについて研修を受け、それを実践していただければ、職員の人権も守られる。トップとして真面目にマネージメントを学ぶべき

だと職員がハッキリ言っており、私も全く同じ思いである。職員は疲弊している。管理職員はボロボロ。アンケートに示されてあるとおり海陽町役場は組織としての体を成しておらず、お二人の責任は重い。アンケートには、たくさんの職員の切実な、悲痛な叫び、訴えが書いてある。

**答** 町長、副町長が真剣に職員の事を考えなければ、海陽町は潰れますとまで書いてある。三浦体制がなぜに異常であるかを物語っている。この結果をもってお尋ねする。一つの私の質問が職員を傷つけ職員を萎縮させたのかお答え下さい。

**答** 三浦町長 6月議会では、職員個人が特定できるような質問を議場ですること事態、職員が委縮すると言わせていただいた。地方自治法第132条には議

会の品位の保持として、「議会は公の問題を議論する場所であるから、無礼な言葉を用いたり、また個人の私生活に関する発言や人身攻撃を行ってはならない」と規定されている。まして特定の個人が識別され得る発言は、その個人のプライバシーが侵害される恐れが極めて強く、そしていったん侵害されたプライバシーは現状回復が極めて難しいものとなり、その個人の名誉に関わるものである。議会は言論の府であるから、発言の自由は尊重されなければならぬが、それゆえに、個人の尊厳や権利擁護を何よりも優先しなければならぬ。議員の公の発言によって、プライバシーが侵害されたりすることがないように、常に自らを律することが肝要であると思う。正常で前向きな会議に戻ることを願っている。

**問** 町長、貴方が町長という公人のトップなんです。これは、倫理の話です。だから今回の職員のアンケートについても非常に厳しい職員の声が出ている訳です。町長、副町長は是非で改め、出直しなさい。お答え下さい。

**答** 島田副町長 アンケート調査の結果については、真摯に受け止めている。本町では、南海トラフ巨大地震や豪雨災害を始め、歯止めのかからない少子高齢化による人口減少、さらに経営不振が続く第3セクターや町立病院など、多くの課題に直面しており、今こそ最大の資産である「職員の能力」を最大限に引き出し、行財政改革を進める必要がある。このため職員には、地域課題を主体的に見出せる現場感覚、課題解決に積極果敢に取り組み

つな身体と精神力、行動力、公務員としての高い規律規範意識を兼ね備えた「次代の町政運営を担う人材」になってほしいと期待している。また、「職員の心身の健康」については、これまで以上に定期的な所属長面談を通じて、心身の不調の未然防止を図り、さらに課を超えた連携や早めの相談、昨年度から導入している「事業評価制度」による既存事業の再構築など、働き方の見直しにも着手し、加えて「人員面」についても、来年度の職員採用は過去3年間で最多を予定しており、さらなる「組織体制の強化」を進めている。今後とも継続して職員組合と話し合い、職員一人一人が心身とも健康で、持てる力を十二分に発揮し、ひいては「町民サービスの向上」につながるよう、海陽町ならではの働き方改革を推進したいと考えている。



叶岡 徹 議員

## 高齢者の安心・安全な生活を

〈地域包括ケア推進課長補佐〉

### 「見守り」を推進している

方々の安心、安全の生活を考えていかなければならない。町として今後どのように施策を進めていくのか。

**答** 川野地域包括ケア推進課長補佐

高齢者で独り暮らしの方が安心・安全に生活できるように、地域での「見守り」を、町として推進している。町内外の事業所にご理解いただき、現在64事業所と高齢者等の見守り活動に関する協定書を締結している。さらに福祉人権課、社会福祉協議会とも連携を密にし、包括支援センターの職員等による訪問も行っている。また独り暮らし高齢者などには、緊急通報装置も活用し、急病や災害時に迅速かつ適切な対応を行っている。

**問** 海陽町も高齢化が進み一人住まいの人が増えてきている。今後その

## 町有財産の有効利用は

〈町長〉有効活用を模索し売却も考える



活用を検討中の町有地

**問** 以前から町民より土地等の寄付がある。町有財産となつてからの有効利用はどうしていくのか。また、町民に対して土地財産等の払下げを行っていくのか。

**答** 長岡管財課長

現在土地等の寄付の申し出があった場合、庁内で検討委員会を開催

し、有効利用ができると判断されたものについて、寄付を受けている財産の売却処分については、今後の利活用の可能性などの検討を関係各課で行い考えていく。

**答** 三浦町長

まずは有効活用を模索し、将来的にも必要性がないと判断されれば、需要も考慮し売却の検討もしていく。

## (株)漁火の経営改善はできるのか

〈副町長〉人材育成により健全化を進める

制規定について見直すことを、従業員全般で考えるところにいるが、できるのか。

**答** 島田副町長

企業にとって、社員は資源としての人材ではなく、適応・進化する資産としての人材であり、人を育てることが企業が経営を行う上で、最も重要であると認識している。

**問** (株)漁火の健全化推進事業について、去年から経営改善に取り組んでいるが、安定経営の継続を確立することや、リビエラ・道の駅の厨房を統廃合すること、また組織体制や人事体

先般、営業・運営・管理の3部門を主軸とし、職責と職務権限の明確化を行う組織再編を実施し合わせて管理職への予算執行権限の付与も行い、経営に直接関与させることで、経営を担う人材育成を実践しているところ。

人材育成には時間を要するが、今後とも「組織の再編による組織体制の確立」と「人材育成」に向け、社員一丸となって取り組みを進め、(株)漁火の経営健全化を図ってまいります。

般 質

問



岡田 信子さん

大里字奥馬谷 満95歳  
(大正12.12.14)

・元気の秘訣

畑仕事。

1年中いろんな野菜を作っている。

・日常生活は？  
生きがいは？

95歳から始めたグラウンドゴルフが楽しい。

2年前まで押し花アート。  
3年前からパッチワーク。

自転車も乗ります。



お気に入りの作品の前で 令和元年9月26日

・人生の思い出は？

77歳で初めての海外旅行。万里の長城に！  
その後も子どもたちと何回も海外旅行したこと。

編集後記

令和元年度秋。十月の消費税増大と即位礼正殿の儀は、まさに今の日本の姿を映し出していると言えよう。

平成元年に税率3%で導入された消費税。その後の急激な少子高齢化や様々な要因は、増税後も膨脹する社会保障費を税収で賄えない時代となった。

国の財政状況は、地方自治体にも大きく影響する。自主財源に乏しく依存財源に頼らざるを得ない本町においては、地域医療再編要請(海南病院や三セク(鉄道・宿泊施設等)を含めて抱える課題は、厳しく大きくなる。

「住民が安心して暮らせる住み良い町」を目指して、町長部局・職員・議会が三位一体となって知恵を出し、努力しなければならぬ時期にきており、議会のチエック機能も改めて問われてくる。

住民目線のご意見を、広報委員会へもお寄せ下さい。(市田)



奥浦の芙蓉 (ふよう)